

R18

サハラ・オズエンネ

# sarla oz enne

~rudje en rudje rosa 2~



~rudje en rudje rosa 2~  
sarla oz enne



へ……

ソルシエール  
この世界の  
緑が豊かな  
これは元々  
本物の大地  
なのかな？

全部作り物よ  
七百年以上前  
に作られた  
「ホルスの翼」  
って言う  
人工浮遊大陸  
の一部



ホルスの翼の  
半分近くは  
死の雲海の下  
に沈んでるわ

たくさんの人  
間と一緒に  
私が落ちて  
しまったから



そっか  
でも狭いリム  
の上に無理矢  
理街が乗っか  
つてるとか  
かなり広い気  
がする

これでも随分  
狭くなつたけ  
どね





メタ・ファルスの人間よ

ミュール  
こちらの方は？

あら？



フレリアの……!?

メタ・ファルス……



なあ  
アルトネリコって……

ソル・シエールの  
アエリアの塔が  
アルトネリコの第一塔なのよ

メタ・ファルスの  
アルトネリコは第二塔  
ちなみにアエリアが  
シュレリアの本拠のきり

へー



初めまして  
私はアルトネリコの管理者  
シュレリアと申します

うちのミュールが  
お世話になりまして……

あどうも  
クロア・バーテルです

誰が「うちの」や



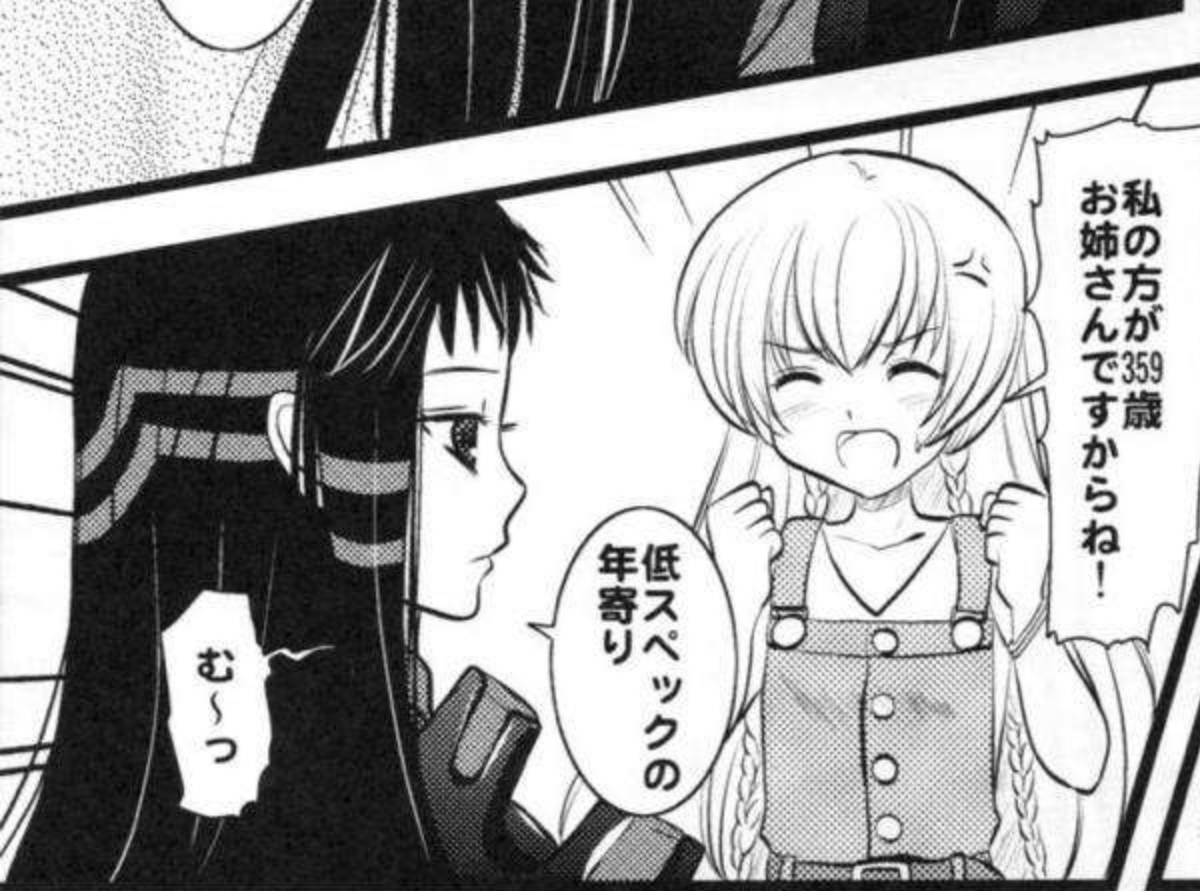
……うん……



えーっと……  
ミューール？

何

あなたとクロアさんとは  
どのようなご関係で？



私の方が<sup>35</sup>歳  
お姉さんですからね！

低スペックの  
年寄り

むっ



何その馬鹿にした  
ような笑いは

お子様には  
分からないご関係よ



で？  
塔にトラブルが何かつたの？  
あつたんじゃなかったの？

はっ そうだった！  
元はと言えば  
あなたが塔のシステムに  
いたずらしまくるから……

簡単に侵入される  
無能な管理者が悪いのよ



ふうふう……

ほら  
直して欲しかったら  
土下座してお願いしなさい



ふざけるん  
じゃないわよ!!

そんな真似したら  
今度は修復不可能なまでに  
クラッキングしてやる!

塔を駄目にしたら  
ミユールも困る癖に!!



あの……  
俺はどうすれば……?

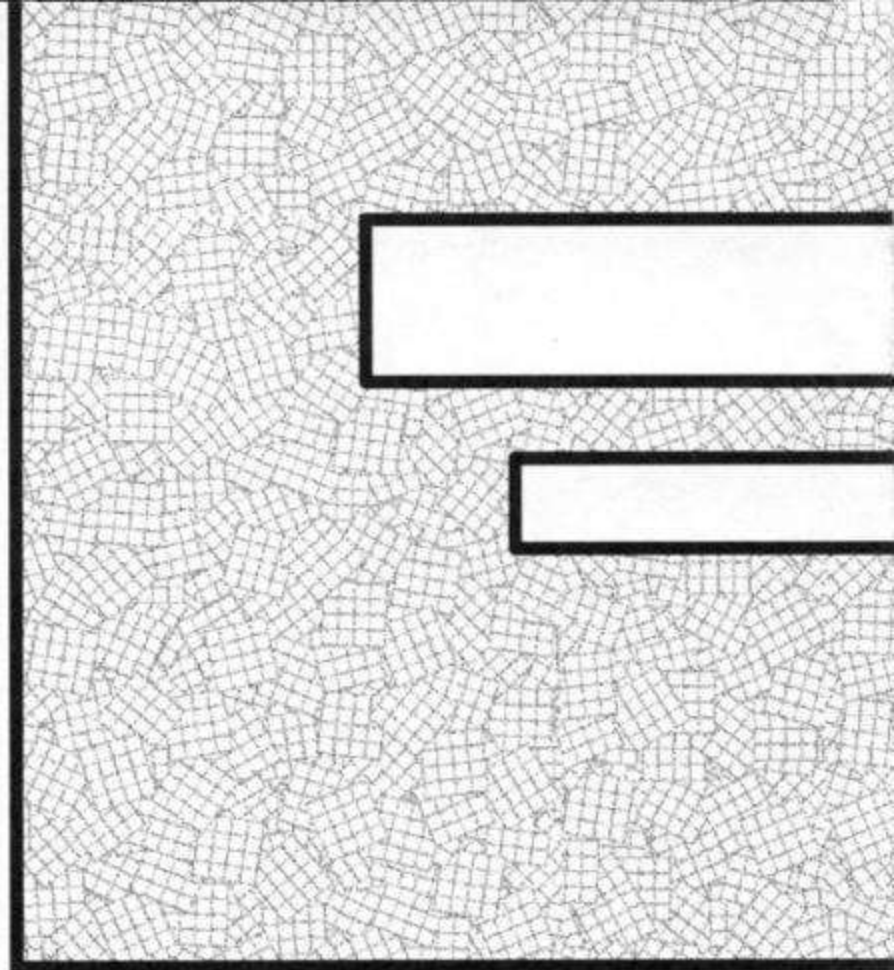
散歩でも何でも  
勝手にしてればいいわ!!

はあ……

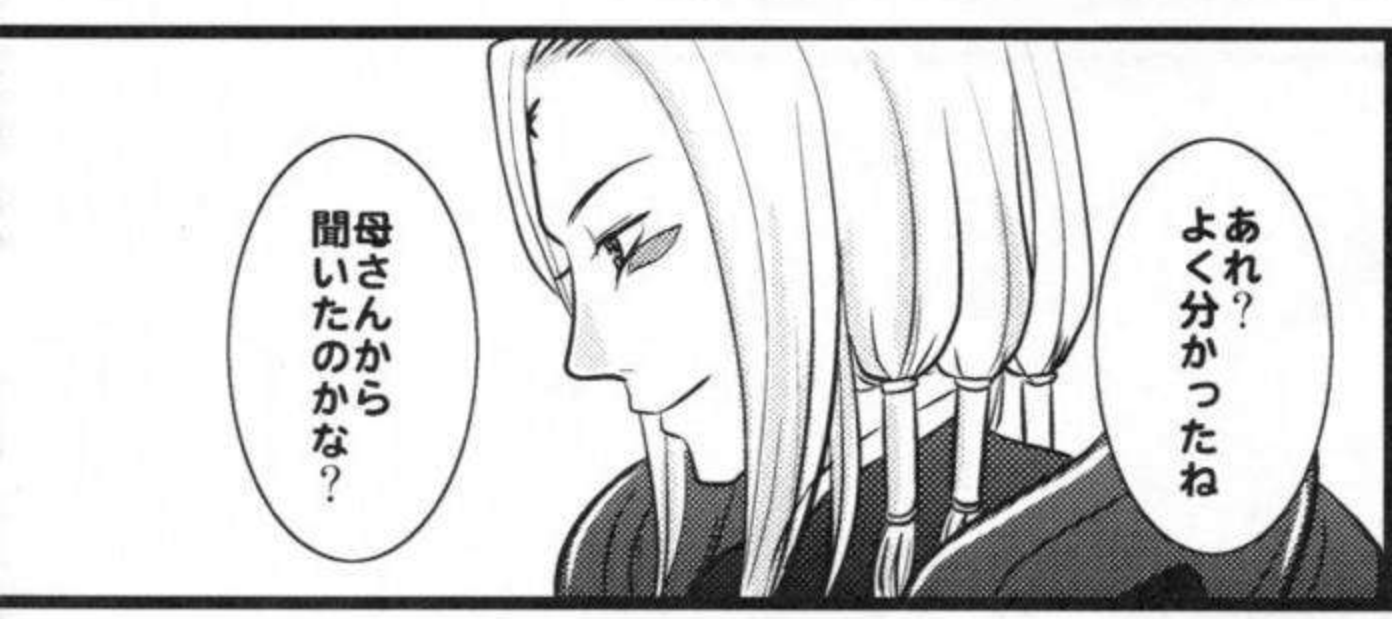


うあ〜ん!

悪い事する子はまた  
ミシヤにクロニクルキー  
謳ってもらっちゃうからーっ!!

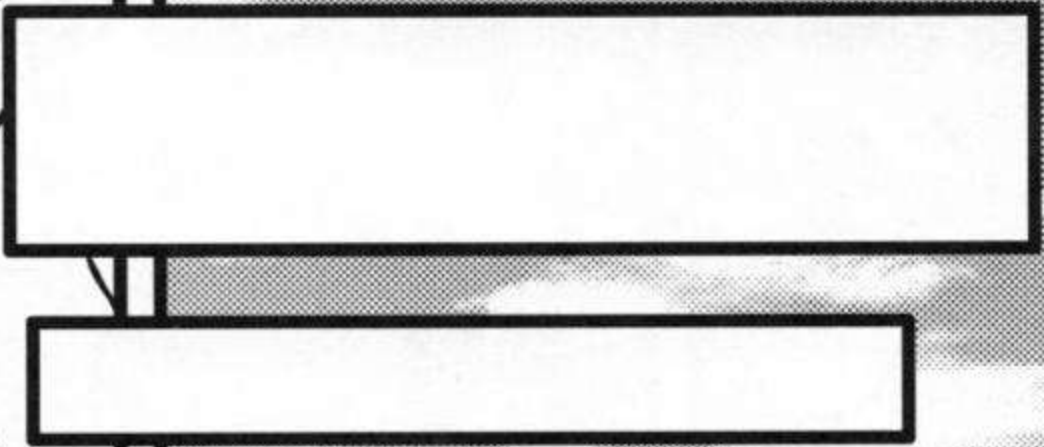








そう……僕が  
母さんの心の護に……



初めましてクロアくん  
母さんから話は聞いてるよ



それは光栄だな

ダイブした時に見たのは  
もう少し幼い感じだったけどな

でもそんな鑑着て  
アヤタネって名乗ってた



ああ  
ミユールは僕の  
生みの親だからね

だから「母さん」



まさか母さんが人間を  
びつくりしたよ

君はよほど信頼  
されてるんだね

なあアヤタネ  
さつきから気に  
なってるんだけど  
「母さん」って……



はい  
母さんも元気そうで  
何よりです

私が居ない間  
何もなかった？

ナ、テナ、ネ

母さんが塔に仕掛けた  
トラップにシユレリア様が  
何度もハマって毎回  
救出が大変でした

お馬鹿な子は  
放っておけばいいのよ

そう言えばいつの間に  
クロアと合流してたの？

僕がたまたま  
通りがかつたんです

そう

一応紹介しておくわ  
クロア この子はアヤタネ  
なかなか使えるいい子よ

改めましてよろしく  
クロアくん

あうん  
よろしく

母さん  
もうシユレリア様の  
御用は済んだんですか？

ばらまいておいた  
バグの半分は消して  
来てやったわ  
残りは明日以降に  
気が向いたらね

全部復旧して  
あげれば良かったのに

いやよ面倒くさい

適当にお土産渡したら  
ちよれで騙されてたから



あんまりシユレリア様を  
いじめないで下さいね  
フオローが大変なんですから

いじめてなんかないわ  
からかってるだけよ

.....



さつきから何回  
あくびしてるんだよ  
眠いなら寝れば?

ん.....

ニムン



おい ここは  
お前の枕じゃないぞ

いいしょ別に.....



ふぁーあ.....



つたく……



悪いね  
すぐ起きると思うから  
少しだけ枕になつて  
やつてくれるかな

ああ  
別に構わないよ



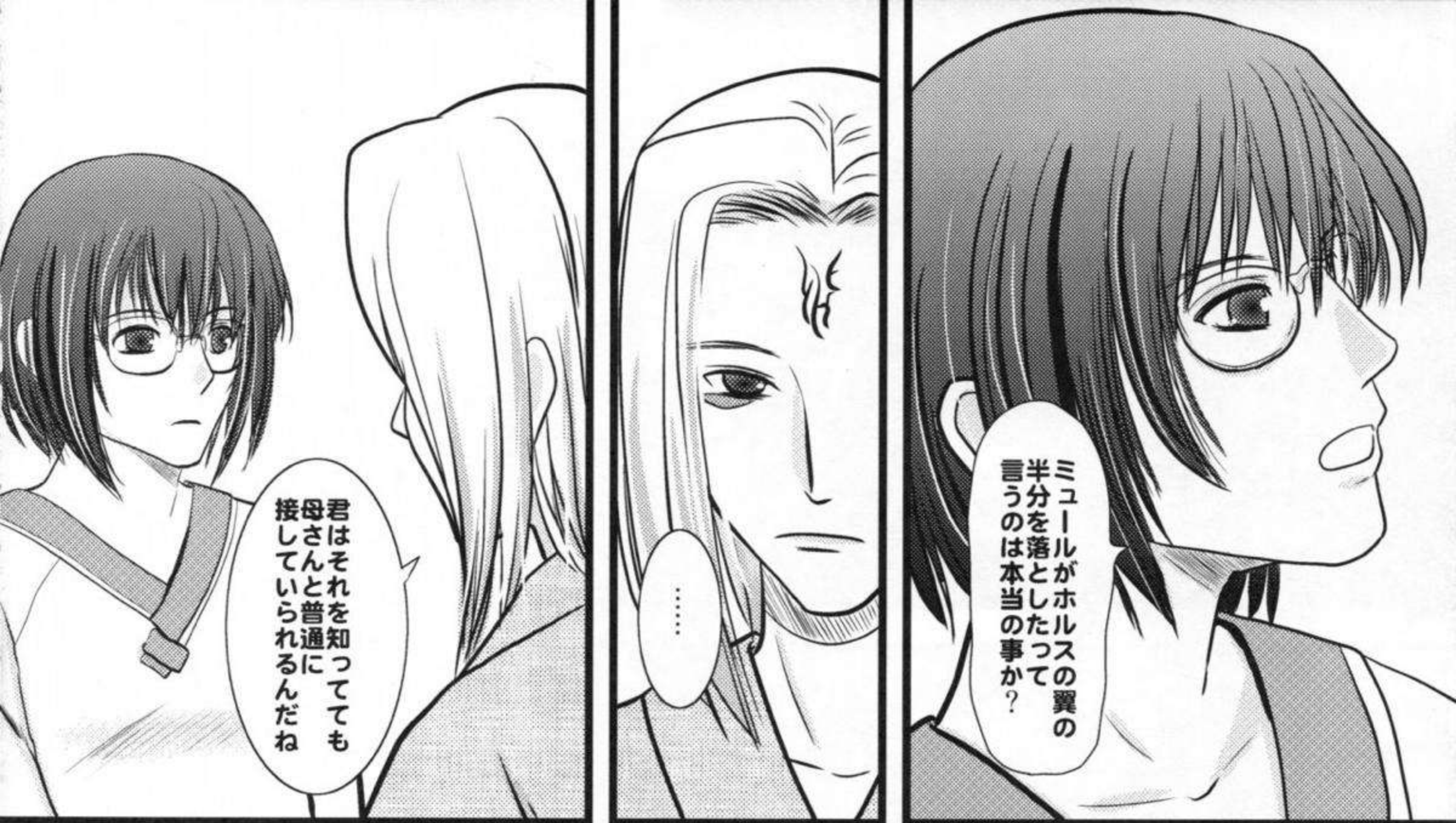
……なあアヤタネ

何だい？



……母さんが  
こんなに気を許す  
人間は滅多に居ないよ

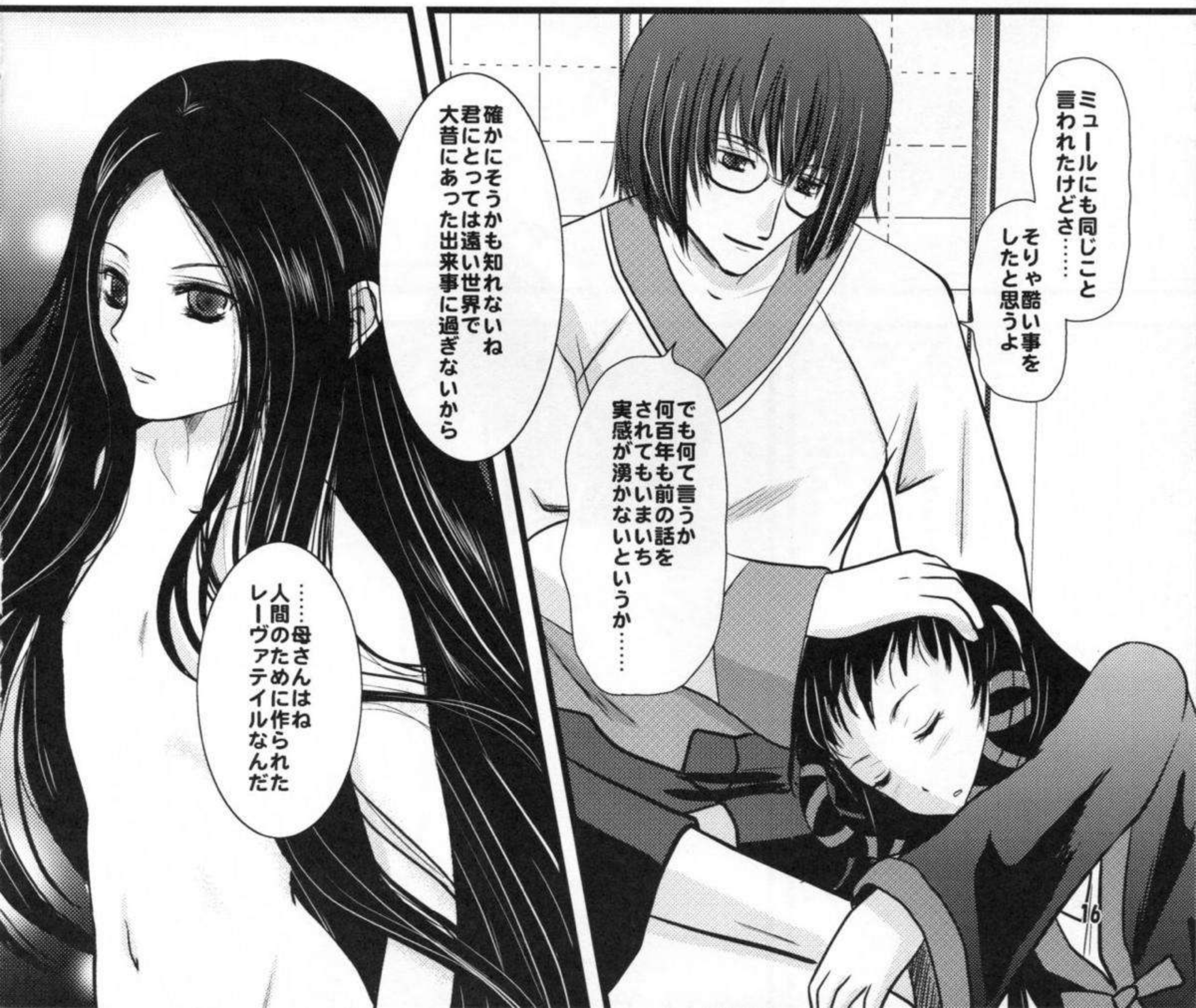
それは光栄だな  
……色々大変だけど



君はそれを知ってても  
母さんと普通に  
接していられるんだね

……

ミュールがホルスの翼の  
半分を落としたりって  
言うのは本当の事か？



確かにそうかも知れないね  
君にとっては遠い世界で  
大昔にあった出来事に過ぎないから

でも何て言うか  
何百年も前の話を  
されてもいまいち  
実感が湧かないというか……

ミュールにも同じこと  
言われたけどさ……

そりゃ酷い事を  
したと思うよ

……母さんはね  
人間のために作られた  
レーヴァテイルなんだ

ただ人間の快適な生活のために  
誣い続けるだけの都合の良い道具――

……母さんはレーヴァテイルを  
解放するために人間に戦いを挑んで  
……大地の半分を沈めたんだ

母さんだけじゃない  
レーヴァテイルはみんな  
人間の便利な道具だった

だけど……理由はどうあれ  
人間からしてみれば母さんの  
存在は災厄そのものだから――

人間なんてみんな  
消えてしまえばいい――

だから君が母さんを  
受け入れてくれる事が  
僕にはとても嬉しい





……災厄……か……

……ん……

ほらミユール  
本格的に寝る気なら  
ちゃんと寢室で寝ろ

ん……



仕方ないなあ  
つたく世話が焼ける

悪いねクロアくん  
母さんは強情で  
我儘だから  
結構手間かかるんだ

息子が言うなら  
間違いないなら



君の部屋も  
そこだから

僕は出掛ける用が  
あるからあとは  
どうぞこゆつくり

……あ、そう……



突き当たりには部屋を  
用意してあるからそこへ

わかった

悪いアヤタネ  
どこに連れてけばいい？



……起きてたのか  
話聞いてたのか?

気が利くし  
料理も上手なのよ  
特別にお味噌汁は最高ね



よく出来た子でしょう?!



頭の上で話してれば  
イヤでも聞こえるわ

用があるって  
オボンヌのところにでも  
遊びに行ったのかしら

オボンヌ?  
オボンヌの親戚か?



あー……うん  
やっぱり本当の事  
だったんだなあつて  
再認識した……かな



……ねえクロア

何とも思わないの?

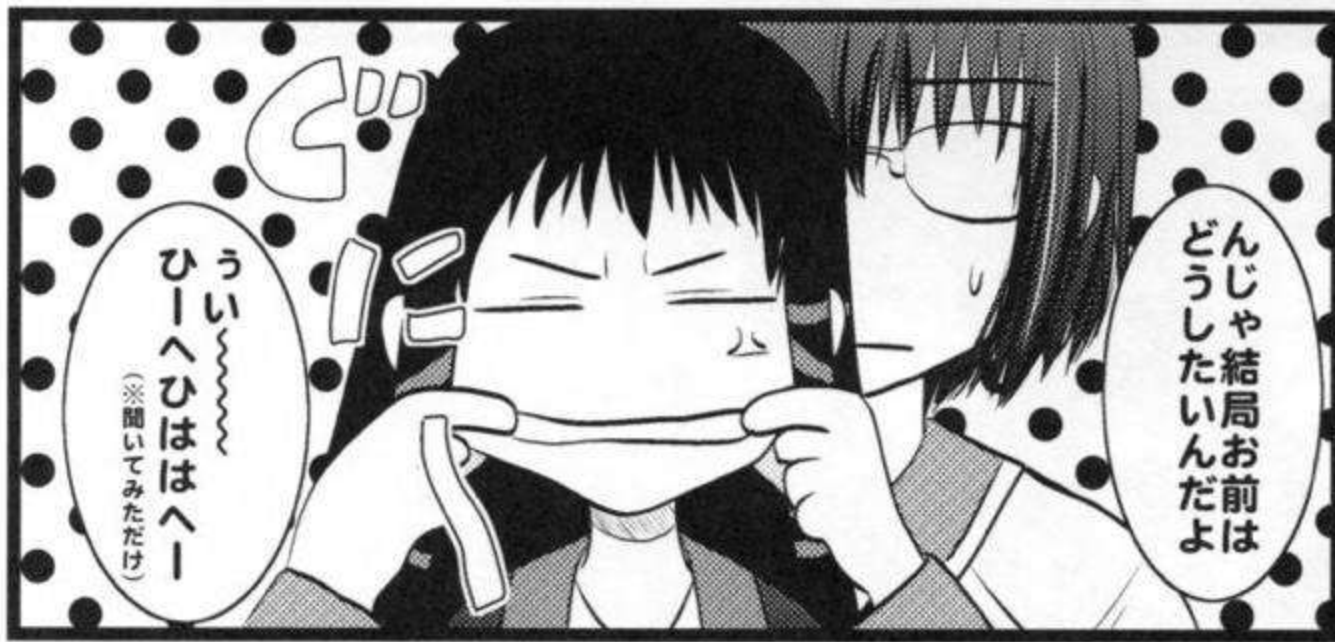
何を

アヤタネも  
話してたでしょう  
私が大昔にやった事



お前は悪魔だ  
鬼畜だつて  
罵った方がいいのか？

別に今更そんなこと  
言われても何とも  
思わないけど



どんじゃ結局お前は  
どうしたいんだよ

うい~~~~  
ひーへひはへー  
(※聞いてみただけ)



……それだけ？

お前がやった事は  
酷い事だと思う

俺の大事な人が  
そんな目に遭わされたら  
俺はお前の事を  
心底憎むと思う

……でしょうね  
当然の反応だわね

ただ……  
俺はお前の心の  
一番深いところにあつたものを  
見てしまったから

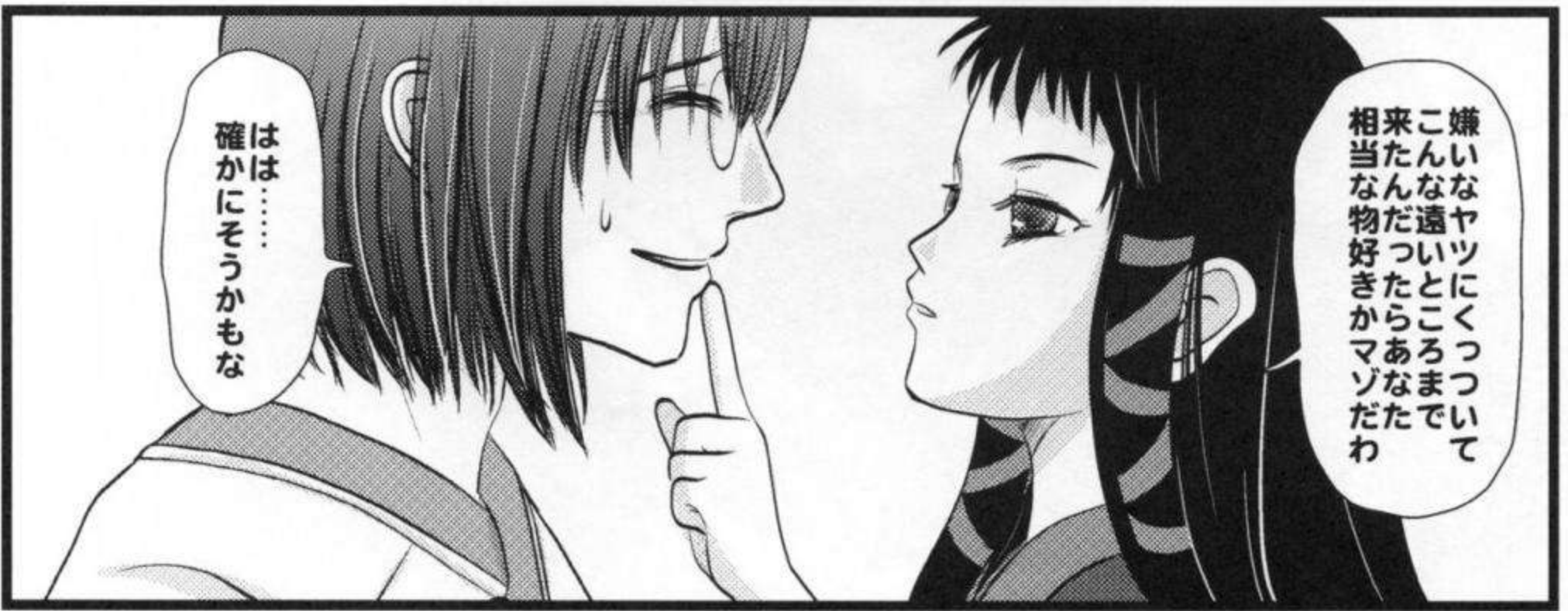
……何よ

お母さんは褒めてくれるかな

みんな喜んでくれるといいな

夢のような世界を創るの

俺は……  
お前の事嫌いじゃないよ





……好きだとも言っていないわ

好きでもないヤツを  
こんな遠いところまで  
連れてきたんだつら  
お前相当な物好きかマゾだ

あなたは使い勝手の  
いい盾だからよ

私専用のね



私が許すまで  
ずーつと……

壊れるんじゃないわよ

ねえ……  
だからクロア……



ああ……  
約束する



……ミユール……





ずっとそばに居てやる

嘔吐

私は知っている



ん……

あ……  
クロア……

私は知っている  
この世界のどこにも  
永遠なんてない事を

希望を抱けばそこに  
絶望が生まれる事を

ベータ純血種の私より  
人間のあなたの方がずっと早く  
朽ち果てて行く事を

生きて――





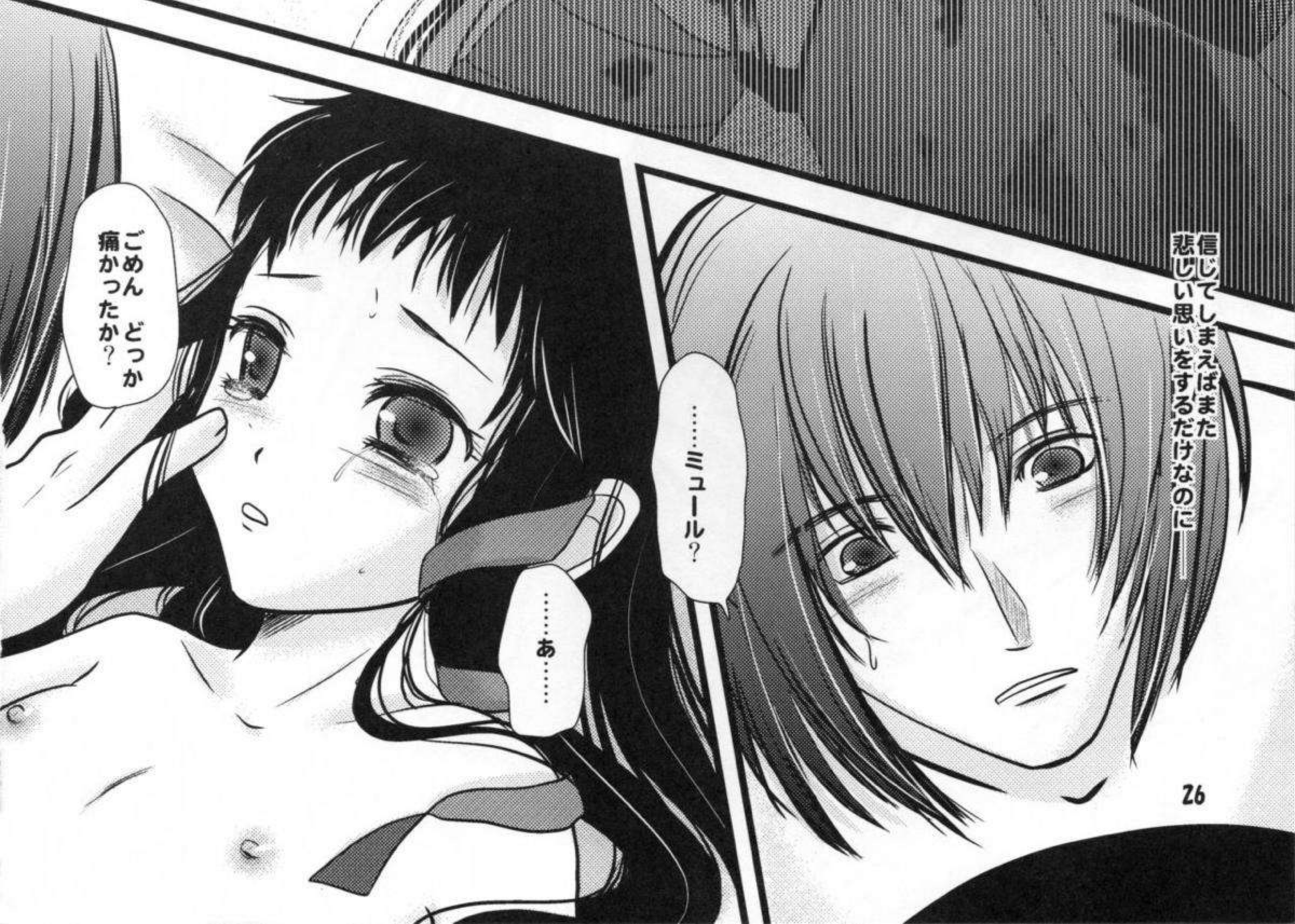
祈りも希望も約束も

私にとっては全て  
意味のないもの

どうか生きて  
我々のために冀望の詩を――

いや……  
死なないで……

お願い……  
死なないでアヤタネ！



ごめん  
どっか  
痛かったか？

……あ……

……ミユール？

信じてしまえばまた  
悲しい思いをするだけなのに――



……別に……  
何でもない……

……何だよ  
気になるだろ

何でもないって  
言ってるでしょう!!

いだだだだだだ!!



だからっ……  
無茶苦茶すんなって  
何度言ったらっ……

あら？ そう言うところが  
面白いから退屈しないって  
この前聞いた気がするけど

確かに言ったけどな！  
実際何回かお前の  
無茶苦茶のせいで  
死にかけてたのを忘れるな

ブルブル

ブルブル



すわー  
……憶えてたら  
以後気をつけるわ

でも急いでる時は  
忘れるから逃げなさい

最初から忘れる気  
マンマンだな……



……？  
憶えてないわ  
マッ……

詩魔法を使う時は  
俺が射程範囲に  
居ない事を  
確認しましょう!!

ギリギリ

?



……大丈夫よ  
私の邪魔さえしなければ  
それなりに長生きは  
できると思うわ

それに私はオリジンよりも  
ずっと高性能に創られてる  
レーヴァテイルよ  
むしろ私のそばに居る方が  
よっぽど安全でしょう？

……そうだな  
俺もまだ死ぬ気はないし



お前の「世界再生」を  
見るまでは……な

——そうね

どうしてあなたは  
私を信じられるの？

どうして私を蔑まないの？

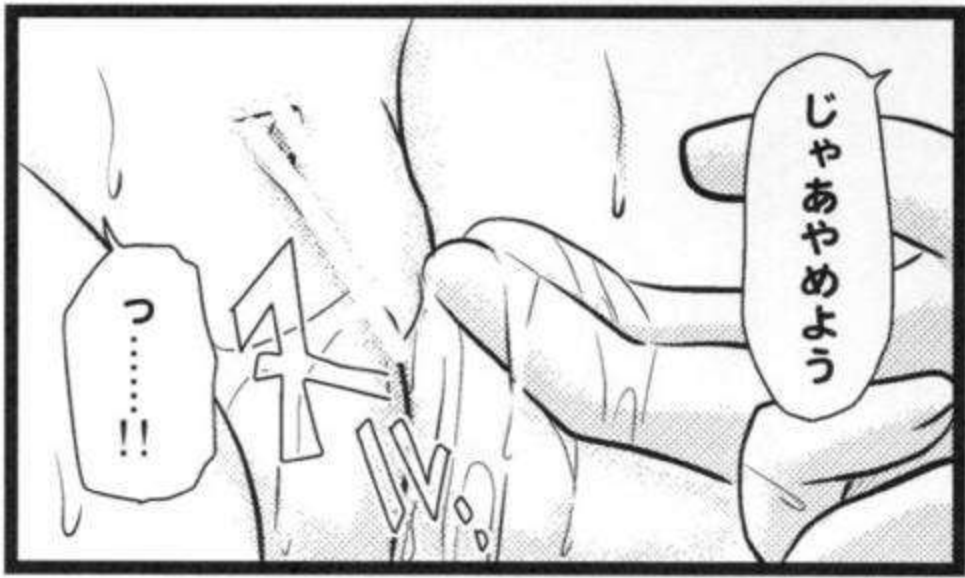
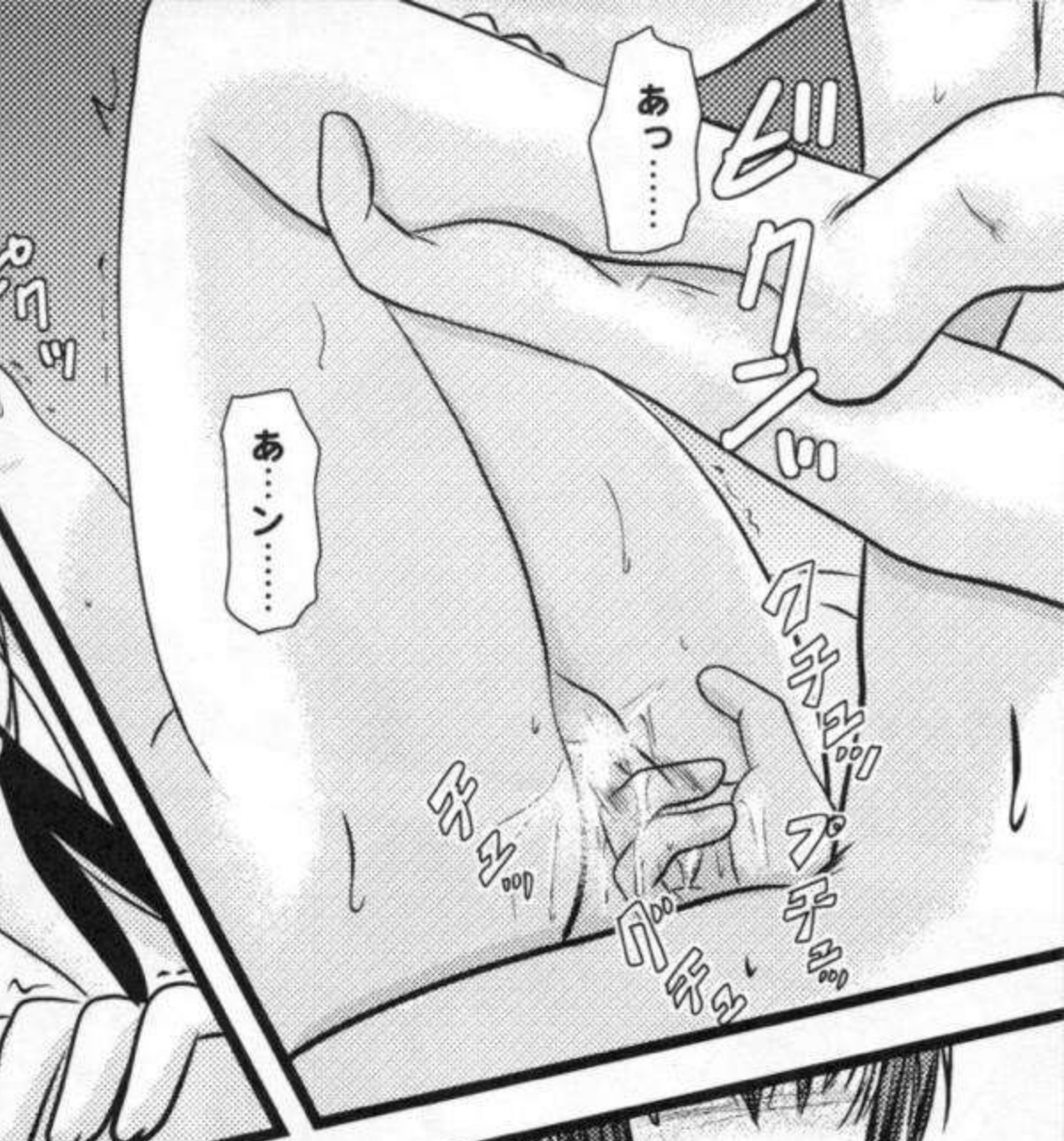
あーあ  
手っ取り早くどこかに  
質のいい大地の心臓  
落ちてないかしら

……さすがにそれは  
ないと思うぞ……

冗談に決まっ  
てるでしょう

お前本気で  
西遊記か  
サウザン  
アーク……







ちょっと待った！  
何謳うつもりだ！

不満があるなら  
ちゃんと言え

むぐっ



いやだつて言うからさ  
何かご不満でも？

ち……ちよつと……  
中途半端に……



泣くほど……  
悔しいほど……  
どんだい……

ううう……

フルフル



ああ

っ……!!



何よその  
投げやりな謝罪は!!

はいはい俺が悪かった  
ごめんなさい(棒読み)









んあッ

あッ

あッ...

あッ

あッ

あッ



……ミユール……？



[Redacted]



ふーん

……うん  
何となく眠れないから  
見てただけ



……あなたがくれたこの花は  
枯れないからいいわね  
何百年も立てば  
朽ちるでしょうけど

まあ造花だからな  
急にどうしたんだ？



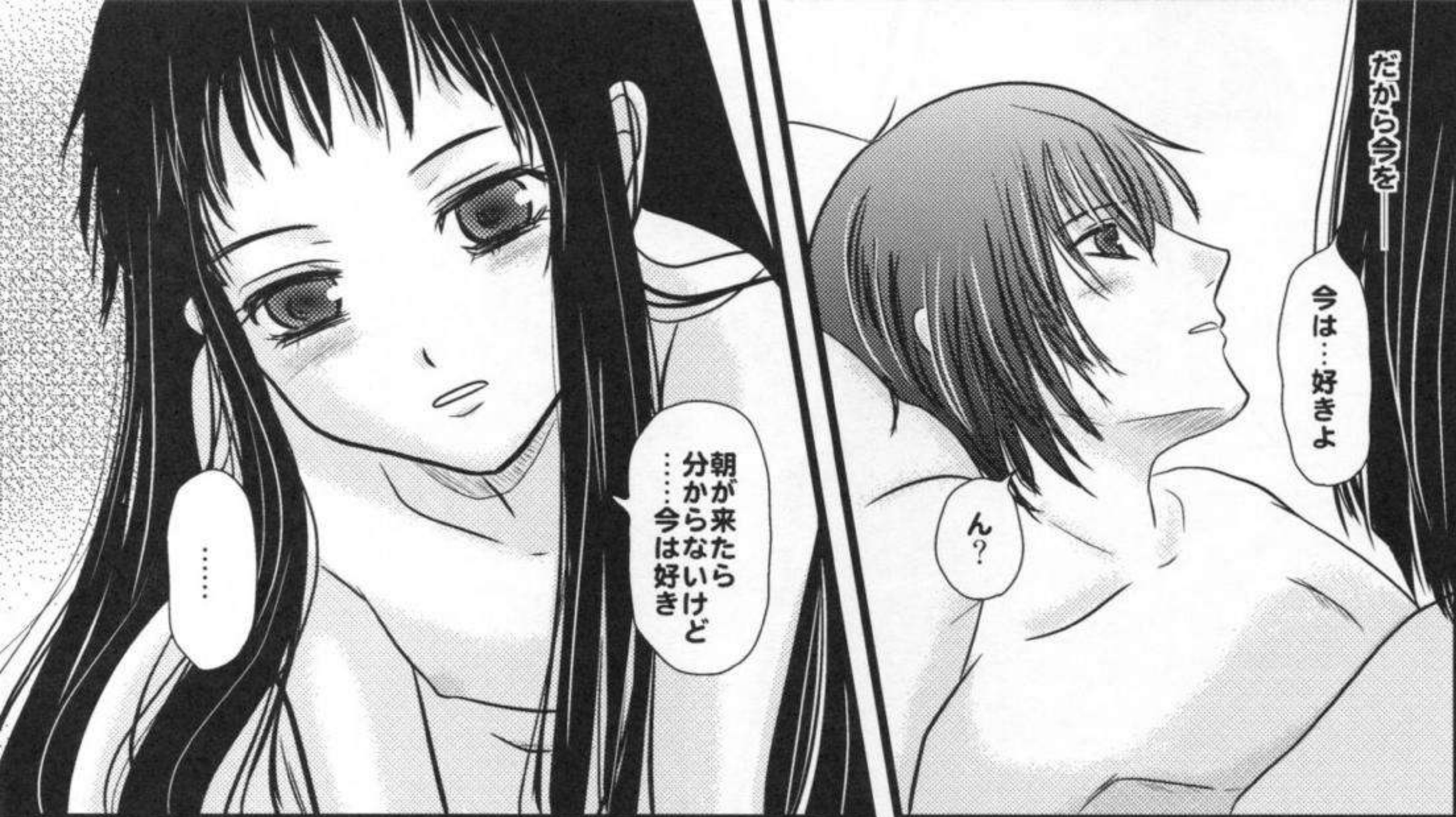
気が向いたらね

……ま  
気が向いたら  
使ってください

私は永遠なんて信じない

花も人も  
いつかはみんな朽ち果てて消えていく

あなたの心も私の心も  
ずっと変わらず同じままなんて  
保障はどこにもない



だから……

今は……好きよ

ん？

朝が来たら  
分らないけど  
……今は好き

……



……うん  
俺も今は好きだ

朝には嫌いに  
なつてるかもしれなわ

それはお互い様



……私が飽きるまで  
私のそばに居るのよ

ああ 俺が飽きるまでは  
そばに居てやるよ

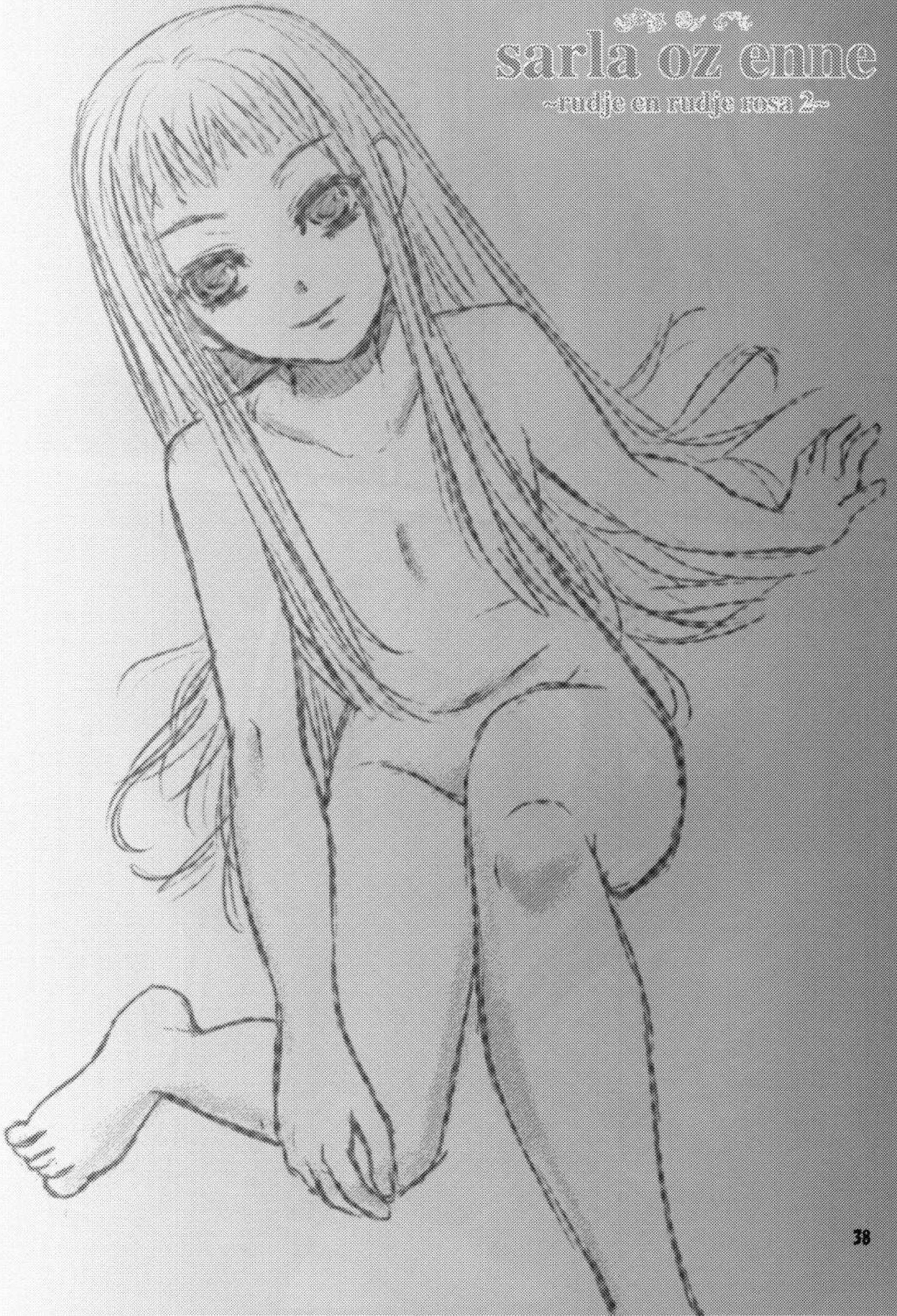
真似ばかり

ん？寝るのか？

うん……  
朝ごはんよろしくね  
……味噌汁……



✿ ✿ ✿  
sarla oz enne  
~rudje en rudje rosa 2~



すみません  
お豆腐と  
揚げ下さい



どかーん

こんな塩辛い味噌汁飲めるか!!  
さては私を高血圧に  
して殺す気ね!?

ふんふん……

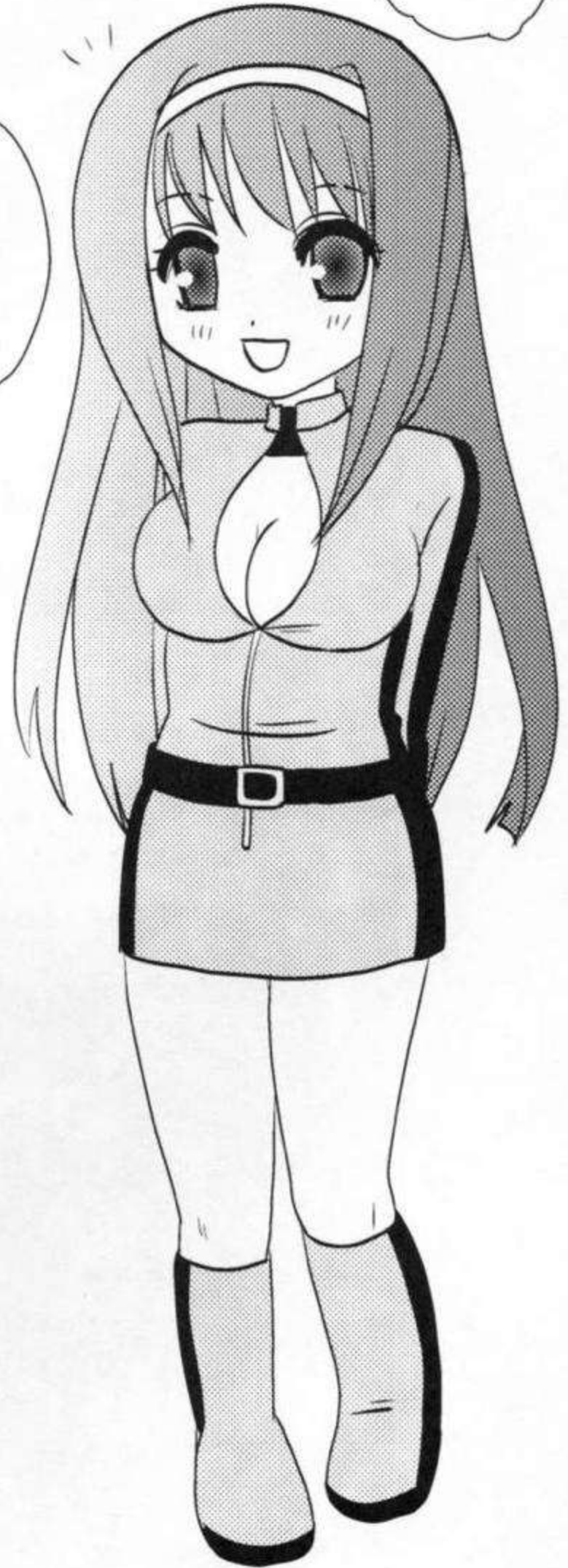


DV 毒

旧ラスボス様は自由を満喫しすぎました

あ  
ミユールちゃん  
久しぶり！  
血色良くなったね

もしかして  
太った？



なお、スペクトラム遺伝子は胸の大きさとは関係のない領域にあるようです。



sarla oz enne ~rudje en rudje rosa 2~

\*発行\* イヌドリルロリータエンジン(犬森サヤカ)  
\*発行日\* 2008. 8. 17  
\*印刷所\* フリーク

\*連絡先\* sayaka@inudrill.com  
\* web \* <http://www.inudrill.com/>

イヌドリル  
sarla oz enne  
~rudje en rudje rosa 2~

転載・複製・web上へのアップロード等はしないで下さい



**Inudrill Lolita Engine**